

みなさんが納めた

介護保険料の使い道を紹介します

介護保険制度のしくみ

介護保険制度は、40歳以上の皆さんの保険料と国・道・市町村の負担で運営されていて、介護が必要となったときにサービスを利用できます。

介護保険制度が導入された背景には、高齢者の増加、介護期間の長期化、介護に対するサービスの要望の増加などのほか、核家族化などによって介護が必要な高齢者を支える家族の構成や状況の変化があります。

このため、高齢者の介護を社会全体で支えあおうと作られたのが介護保険制度です。

介護保険の財源

介護保険の財源は半分が国・道・市町村の負担で、残りの半分を40歳～64歳の方（第2号被保険者）と65歳以上の方（第1号被保険者）が負担する保険料でまかなわれています。

第2号被保険者の保険料

は、加入している医療保険の算定方法で決められ、医療保険の保険料と合わせて納めていただきます。

江別市の平成24年度
介護保険料(単位:千円)

65歳以上	1,457,818
40～64歳	2,129,985
合計	3,587,803

第1号

被保険者の保険料は所得などに応じて決まり、原則として年金からの差し引きとなります(65歳になった翌月に納入通知書が送られます)。なお、国・道の負担分および第2号被保険者の保険料分は概算額が一度市に支払われた後、翌年度に精算されます。

介護サービスの利用状況

さまざまな介護サービスの保険給付費は、年々増加しています。介護保険制度が定着したことによる介護サービスの利用者数・利用量の増加や、介護に従事する人の待遇改善

平成24年度の介護保険の主なサービスの内容(単位:千円)

サービス項目	内容	平成24年度決算	
		介護	介護予防
施設介護サービス費	特養、老健などの施設サービス費	2,804,208	
居宅介護サービス費	ホームヘルパー、デイサービスなどの居宅介護サービス費	2,133,519	494,972
地域密着型介護サービス費	グループホームなどの地域に密着したサービス費	960,940	4,936
特定入所者介護サービス費	施設入所などの低所得者の食費・居住費の減額分	326,436	1,138
居宅介護サービス計画費	ケアマネジャーへの報酬などの経費	265,582	54,347
住宅改修費	手すり設置などの住宅改修費	24,170	20,325
福祉用具購入費	ポータブルトイレなどの福祉用具の購入費	8,855	5,108
高額介護サービス費	自己負担額が上限額を超えた場合の助成費		154,167
高額医療合算介護サービス費	医療と介護の両方を利用し、高額サービスを利用して自己負担額が一定額を超えた場合の助成費		18,933



などにより、平成24年度は2億8500万円と、平成23年度の68億1100万円に比べて4億7400万円の増となりました。

平成24年度の介護サービスの利用状況は前年度と同様、特別養護老人ホームなどの施設介護サービス費が保険給付費全体の約4割。次いでホームヘルパーやデイサービスなどの居宅介護サービス費、グループホームなどの地域密着型介護サービス費などとな

要介護認定を受けていなくても

介護保険料の主な使い道は介護給付費ですが、この他に要介護認定を受けていない高齢者に対する事業にも使われています。

介護予防事業や地域支援事業の紹介

- ・地域包括支援センターの運営(市内4カ所)
- ・生活機能チェック事業
- ・元気の達人養成講座
- ・市内各地での介護予防出前講話
- ・緊急通報装置設置者への安否確認電話
- ・在宅高齢者への給食サービス
- ・認知症高齢者家族への支援

介護を必要としないで自立した日常生活が営めるよう支援する介護予防事業や、介護に限らず虐待・消費者被害の防止などの相談窓口として高齢者を総合的に支える地域包括支援センターの運営、認知症対策の推進、高齢者の給食サービスといったさまざまな高齢者支援などを行う地域支援事業も介護保険料を財源としています。

67 **詳細** 介護保険課 ☎381・10